



心を打たれた映画「ばあばは、だいじょうぶ」



当協議会地域福祉部と千厩図書館主催の映画会「ばあばは、だいじょうぶ」は11月16日、千厩図書館で午前と午後の2回上映。2年目の開催となった今回は、87人が鑑賞。

昨年開催した映画会は若年性認知症と診断された当事者を中心に描かれた作品でしたが、今回は大好きな祖母が段々と認知症が進んでしまう様子を小学生の孫の目線で描かれた作品でした。

鑑賞した参加者からは心を打たれましたなどの感想が寄せられました。一部を紹介します。

とても感動的な映画でした。認知症は人に迷惑をかけてしまうし、本人にとっても辛いということが分かりました。つばさ君はすごいと思いました。

10代

とても感動しました！家族の理解と地域でのサポートが大切だと思いました。

60代



すこしかなしかったです。10才未満

歴史と文化を感じて ～21世紀塾地域づくり特別移動研修～

移動研修「歴史ある建物等の今を訪れる旅」は4日、44人が参加。晴天の中、秋田県の「旧池田氏庭園」と「蔵の町増田」を訪ね歴史と文化を感じる旅となりました。

旧池田氏庭園はとても広大で、ガイドとともに明治に建てられた洋館と庭を見学。あまりに広すぎて時間内ではすべて回れないほどでした。また、池のそばにある大灯籠には誰もが圧倒され、そこからの眺めも素晴らしく、写真を撮っている人がたくさんいました。

蔵の町増田は伝統的な建物が残っていてカフェや土産屋として利用されているほか、内蔵の中を見学できる場所もありました。また、日本初のマンガ専門の美術館「増田まんが美術館」を訪れた方からは、自由に散策できたことに満足できたと話していました。



イルミネーション開催のお知らせ

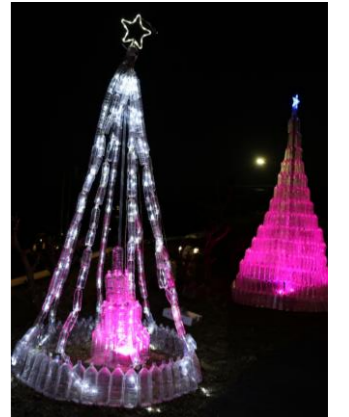
当協議会産業安全部主催のイルミネーションを次の期間で開催します。たくさんのご来場をお待ちしています。

イルミネーション点灯期間

日時：12月7日(土)～1月12日(日)

16:30～21:00

場所：千厩市民センター駐車場



祝品のみ贈呈やむを得ない61%

敬老事業についてのアンケート結果まとまる

千厩地区福祉活動推進協議会(館澤敏子会長)は、9月16日の敬老の日にあたり、千厩地区内の80歳以上の皆さまに「祝品」を贈呈する際、敬老事業についてのアンケート調査を行い、その結果を次のとおりまとめました。

調査は、80歳以上の723人を対象とし、回答者は93人、回答率は12.86%でした。

敬老祝品(三陸産海藻・ようかんセット)の感想は、

とても良い40%、まあ良い35%、あまり良くない12%、特に感想なし13%

でした。感染症予防や限られた予算のため、以前のように皆さんに集まっていたく敬老会の開催は難しい状況についての感想は、

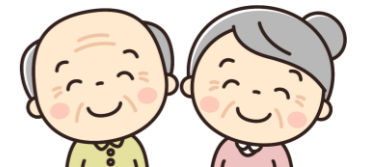
祝品のみ贈呈はやむを得ない 61%

飲食を伴う敬老会を開催してほしい 6%

飲食なしで集まる機会を設けてほしい 15%

その他 17%

でした。その他自由記載の感想には以下のようなものがありました。



- なんとなく粗末である。昔の方が良かった。
- 参加者負担金5,000円限度で飲食を伴う敬老会の開催を希望する。
- うれしくない。このように考えるのであればやめた方が良い。
- 毎年、敬老祝品と市長のメッセージをいただき、市民の一員であると感じる。
- 祝品は毎年違うと楽しみがある。
- 祝品は廃止してもよいのでは。
- 祝品は、80歳と88歳だけにしては。

協議会では、アンケートの結果を分析し、来年以降の敬老事業の取組を検討することとしています。

千厩地区の人口・世帯数 令和6年10月31日現在。一関市調べ。()内は前年同月比。

人口 5,040人(-119) 男 2,419人(-61) 女 2,621人(-58) 世帯数 2,314世帯(-7)